

無計画と見える道路行政を どう方向付けるのか

緊急性を考慮し、積極的に整備します



小林 光 議員

質問 町道の舗装率3割強、残りは未舗装の現状。無計画と見える道路行政を、どう方向づけるのか。

答弁 町の総合計画に沿って、道路と公共交通の環境整備を図り、暮らしやすく安心な街づくりに向けて、必要性・緊急性を考慮しながら整備を進めていきます。

都市計画道路については、見直し等検討する中で、工事中の路線の早期完成と次期予定路線については、関係者との協議を行っていきますが、必要に応じて都市計画審議会等に諮りながら進めていきます。

幹線道路については、かなり整備されてきてはいますが、緊急性等を考

慮する中で、今後も積極的に環境整備に努めていきます。

また、集落内道路については、地元要望を受け、規格道路として整備を実施していきますが、地元の受け入れ態勢が整うことが前提となります。

○その他の質問事項
・塚平用地の利用について



今年度完成予定の「富士見ヶ丘北線」

保険料の緩和措置を 取る考えは

県・広域連合全体で 検討すべき



名取武一 議員

質問 後期高齢者医療制度が実施され、苦情・トラブルは発生していないか。また、国保料より大幅に負担が増える家族はないか、負担増となっている場合、緩和措置を取る考えは。

答弁 制度の複雑さから解りにくい点が多く、約120件の問い合わせがあり、もっとも多かったのは制度が解からない、制度への不満、保険証が小さくて見にくいなどでありました。

トラブルという状況から見ますと、3月末に保険証を普通郵便でお届けしましたが、転送不要で60件が戻ってきました。また、紛失などの理由などで59件の再発行をしています。

後期高齢者制度移行にともなうシステム上のトラブルは、今のところ発生していません。

保険料は、後期高齢者と一般国保と現役世代の同居世帯では、増加傾向となっています。特に所得水準が高い世帯は大幅に増加する見通しです。

このことに、町単独で緩和措置をこつじる考えはありません。県・広域連合全体で検討すべきものと考えます。

○その他の質問事項
・農産物の地産地消
・可燃ごみの減量化
・町営住宅

について